



資料-3

鵜殿ヨシに関する生育試験状況報告

2013年12月

株式会社 高速道路総合技術研究所
緑化技術センター

1. 試験の目的



- 現在、新名神高速道路の淀川渡河部における環境保全が検討されており、その一部として、鶺鴒殿におけるヨシの育成環境について検討しています。
- しかし、鶺鴒殿地区に生育するヨシの生理や生態は、明らかになっていません。
- (株)高速道路総合技術研究所 緑化技術センターでは、発芽試験・育成試験の実施により、鶺鴒殿地区のヨシに関する生育環境、遺伝的特徴に関する基礎データを収集しています。

2. 発芽試験



- 鶺殿地区から採取した穂から種子だけを取り出し、各穂ごとに100粒ずつ4反復、計400粒の種子を無作為に選びます。
- これをろ紙に並べて、発芽試験機を用いた発芽試験を行っています。



ヨシの直径の計測



穂の採取 11月中旬



採取した穂



種子の取り出し



取り出した種子

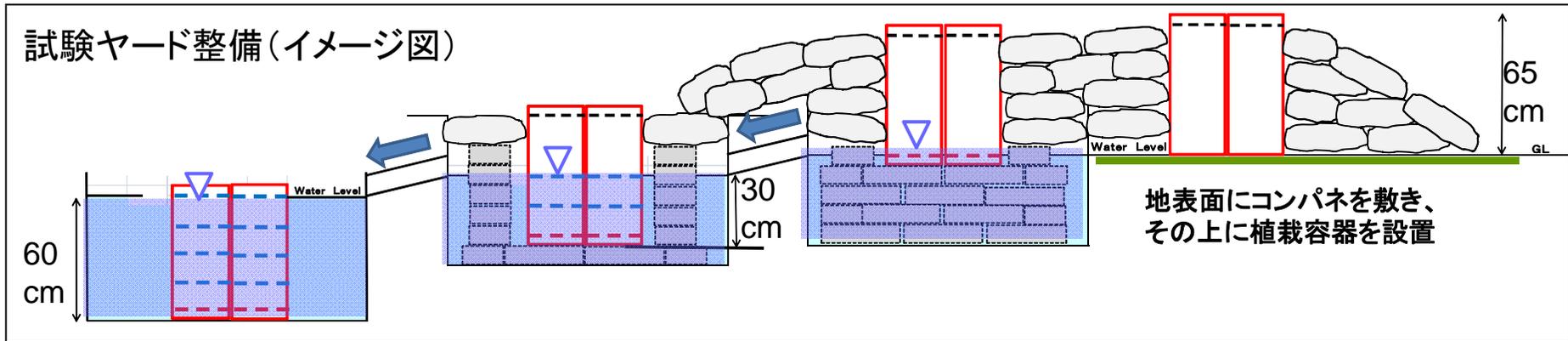


発芽試験開始 12月上旬

3. 育成試験



- 鵜殿地区のヨシの種子から生産した苗を用いて、生育場所の水位及び施肥条件を変えて試験栽培を行い、その成長に関するデータを収集しています。



ヨシの幼苗生産
6月中旬



ヨシの苗の育成
9月下旬



試験ヤードへ植付
9月下旬



調査状況